

この説明文書は本剤とともに保管し、服用の際には必ずお読みください

かぜ薬 **かぜピラシゴールドS** 第2類医薬品

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

- 次の人は服用しないこと
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないこと
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等）
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと（眠気等があらわれることがある。）
- 服用前後は飲酒しないこと
- 長期連用しないこと

相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 授乳中の人。
 - 水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザに罹っている又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）。
 - 高齢者。
 - 薬などによりアレルギー症状やぜんそくを起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。 高熱、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
呼 吸 器	息切れ、息苦しさ
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎 障 害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。

間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 口のかわき、眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

成分及び分量 本品1日量(6カプセル)中

アセトアミノフェン	650mg	dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg
エテンザミド	400mg	無水カフェイン	75mg
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	ゲンチアナエキス	10mg
デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物	32mg	(原生薬換算量100mg)	
ノスカピン	48mg	ゴオウ	3mg

添加物として、D-マンニトール、カルメロースカルシウム、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースナトリウム、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム、ラウリル硫酸ナトリウム、ゼラチン、赤色3号、黄色4号(タートラジン)、黄色5号を含有します。

効能又は効果

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法及び用量

いずれも、1日3回食後なるべく30分以内に服用してください。

15歳以上	1回	2カプセル
7歳以上15歳未満	1回	1カプセル
7歳未満		服用しないこと

〈用法及び用量に関連する注意〉

- 用法及び用量を厳守してください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください(誤ってそのまま飲み込めば、食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)

〈PTPシートの取り出し方〉



保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

■お問い合わせ先

大協薬品工業株式会社 お客様相談窓口 電話:076-479-1313
 受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

■副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html
 電話:0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元



大協薬品工業株式会社

富山市水橋畠等173